

# 国語 3範囲まとめ問題 答え

## 一 クマゼミ増加の原因を探る

1. 大阪市内では、クマゼミの占める割合が高くなった。  
最低ライン: 大阪市内、クマゼミが多い。
2. 大阪市内では、なぜクマゼミの占める割合が、これほど高くなったのだろうか。/ ヒートアイランド現象による環境変化が有利に働いたのではないだろうか。  
最低ライン: 2文をそのまま。
3. 植物や土で覆われた地面は舗装されてビルや道路になった。
4. 現在の大阪市内は、以前より暑く、乾燥しているから。/ クマゼミは暑さには強いと考えられるから。  
最低ライン: 2つ。
5. 厳しい寒さに耐える。
6. 小さく未熟な状態。
7. 本文で確認。候補: 冬の寒さ、雨、土の硬さ。  
最低ライン: 本文表現に合わせる。
8. ウ
9. 氷点下二十一度に一日置いても、大部分が生き延びることがわかったから。/ 大阪市の平均気温よりも低い氷点下五度に三十日間置いても、特に影響は見られなかったから。/ 大阪市より気温の低い枚岡山でも孵化率は下がらなかったから。  
最低ライン: 3つ。
10. 気温上昇によりセミの孵化が早まっていること。/ 過去五十年間、梅雨明けの時期はほとんど変わっていないこと。  
最低ライン: 2つ。
11. 孵化には雨が必須であ
12. 他のセミは、孵化がほ
13. 増えた原因: 気温上昇で孵化が早まり、梅雨の時期と重なったから。/ だけが増えた原因ではない理由: 梅雨の期間に孵化が終わる点では、他のセミの方が依然として有利だから。  
最低ライン: 2つ。
14. クマゼミは他のセミと比べ、硬い土に潜る能力が圧倒的に高かった。
15. ア
16. エ  
最低ライン: 本文全体の主張。

## 二 短歌に親しむ

17. 千三百年以上前から受け継がれてきた日本の詩。五・七・五・七・七の三十一音。五・七・五の十七音から成る俳句。  
最低ライン: 基本知識。
18. 正岡子規
19. 明治時代
20. イ 竹乃里歌
21. にしゃく
22. はるさめ
23. くれない
24. やわらか
25. 句切れなし
26. ア 早春

27. ウ 紅
28. とげ
29. イ 約60.6cm
30. 春雨のふる。  
最低ライン: 春雨のふる様子。
31. ウ、エ  
最低ライン: 根拠を歌の言葉から見る。
32. エ 春雨の  
最低ライン: 主格の『の』。

### 三 言葉の力

33. ある人があるとき発した言葉
34. ある人があるとき発した言葉がどんなに美しかったとしても、別の人がそれを用いたとき同じように美しいとはかぎらない。  
最低ライン: ことに続ける。
35. エ
36. 人間全体が、ささやかな言葉の一つ一つに反映してしまうから。
37. 言葉
38. ウ
39. 桜色
40. なんとも美しい桜色 / 美しいピンクの色 / 上気したような、えもいわれぬ色 / 最上のピンクの色  
最低ライン: 4つ。
41. 桜の花が咲く直前のころ
42. 山の桜の皮
43. ウ 驚き
44. ウ
45. エ
46. 木全体で最上のピンクの色になろうとすること。
47. 桜の花びらに現れ出たピンク
48. 体が一瞬揺らぐような不思議な感じに襲われた。
49. 人間全体が、ささやかな言葉の一つ一つに反映してしまうこと。
50. ア
51. ア
52. イ
53. 序論: 人はよく美しい言葉、/ 本論: 京都の嵯峨に住む染織 / 結論: このように見てくれば  
最低ライン: 3つ。
54. エ
55. イ